

# 膝治療に特化したメディカルスタッフが早期の社会復帰を支援

医療法人 悠康会

## 函館整形外科クリニック

函館市石川町2-1-15  
0138・34・57700  
<http://hakodate-seikei.com/>

道南初の膝関節専門クリニックとして2007年に開院した「函館整形外科クリニック」。

人工膝関節置換術などで抜群の手術実績を誇っているが「100点の治療成績を達成するには手術だけではだめ。術前準備や術後リハビリが重要」と大越康充院長。整形外科医をはじめ、麻酔科医や看護師、理学療法士など全スタッフが協力して質の高い医療達成を目指している。

手術が必要な場合は、患者の

状態を大越院長、前田龍智副院長、鈴木航整形外科手術部長、

さらには看護師や理学療法士も

交えてディスカッションする。患者の全身状態を考慮し、万全の準備をした上で手術に臨む。

手術はドクター2人体制が基

本。手術専属の看護師も補助に

加わることで、最大限のパフォーマンスを可能にし、ひいては手術の精度向上につなげている。

また、「術後の痛みがトラウ

マになってしまふと、その後の

リハビリに深刻な影響を及ぼします」(大越院長)との見解から、疼痛管理にも尽力。同院では、麻酔科医による神経ブロック療法を実施し、術後の痛みを最大限軽減。精神的にも安定した状態で患者をリハビリに向かわせている。

リハビリの開始も迅速だ。一

刻も早いリハビリの開始が早期の社会復帰の鍵を握るが、術後の腫れがひどいリハビリの進行を妨げる。そこで同院では、

大越院長が開発した「アイシングシステム」という機器を使用。専用のサポートで膝全体を圧迫しながら冷却することで、効果的に腫れを予防している。

リハビリを担当する理学療法士のレベルアップにも力を注ぎ、効

用し、早期のリハビリが可能



優れた理学療法士がリハビリを支援

毎月勉強会を開催。中には大学の教員として招かれたスタッフもいるほどで、一人ひとりのレベルは極めて高い。こうして培ったマンパワーに加え、最新機器も駆使。3次元動作解析装置による歩行分析で患者の状態を把握し、症状に応じたりハビリプログラムを用意することで、患者のQOL(生活の質)向上につなげている。



大越康充院長

前田龍智副院長

鈴木航整形外科手術部部長